

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

<新年号> 2023.1.20 No.100

賀
謹
賀
新年



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、栃木県で「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」が行われました。コロナ禍では初めての開催となりましたが、成功裏に終えることができたのは、関係者各位のご尽力の賜物であります。ありがとうございました。

さて、那須塩原市議会は、昨年10月に「議会フォーラムinみるる ～若者・女性の政治参画を考える～」を開催しました。若者や女性の政治参加を促す初めての試みで、北海道浦幌町、長野県飯綱町など6市区町議会から議員をお招きし、住民を前にパネルディスカッションを行いました。今後も、主権者教育などの様々な事業を通じ、政治参加について考えるきっかけを作っていきたいと考えています。また、本号で「議会のひととき」が100号を

迎えます。議会だよりは、「読みやすく、親しみやすい紙面づくり」を合言葉に、那須塩原市が合併した年である平成17年に第1号が発行されました。これからも、発行当初の想いをつなぎ、市民の皆さまに議会活動の情報を発信してまいります。

結びに、新年が市民の皆さまにとりまして、素晴らしい年となることを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



議長 松田寛人 副議長 相馬 剛



令和4年11月 那須塩原市議会臨時会議が開催されました



マイナンバーカードの普及促進のための受付業務体制の強化や、省エネ家電等購入促進事業、海外都市連携事業の実施に必要な経費等が計上された補正予算案について審議するため、臨時会議を開催しました。

補正予算に計上された事業の一部を紹介します

◆省エネ家電等購入促進事業

市内の事業者から基準を満たした省エネ家電等を購入する費用の一部を補助します。

問 補助件数は何件を想定しているか伺う。

答 おおむね 850 件を想定し、予算計上している。

問 申請額が予算額に到達した場合、さらに補正予算を計上するのか。

答 予算額に到達した時点で受付を終了する。

問 過去に購入した家電等も対象になるのか、チェーン店での購入も対象となるのか伺う。

答 購入基準日は令和4年10月14日から令和5年3月31日までである。

チェーン店でも市内に店舗があれば補助対象となる。



◆マイナンバーカード普及促進事業

マイナンバーカードの所有者及び新規取得者に 3,000 円分の市内共通商品券を交付します。

問 新規申請者数の見込みを伺う。

答 現在の市内交付者数はおおむね 5 万 8,000 人ほどであり、1 万 2,000 人を見込んでいる。

問 新規申請者について、商品券が交付されるのは申請したタイミングなのか。

答 交付率上昇が目的の事業であるため、申請したタイミングではなく、マイナンバーカードの交付を受けた後に商品券を交付、または郵送する。既にマイナンバーカードを所有している人については準備が整い次第、発送していく予定である。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第76号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決

議会フォーラム in みるる

～若者・女性の政治参画を考える～

那須塩原市議会は、全国的に課題となっている議員のなり手不足に焦点を当て、政治的関心を持ってもらうことを目的とした議会フォーラムを令和4年10月22日に那須塩原市図書館みるるで開催しました。内容は2部構成とし、第1部は早稲田大学マニフェスト研究所ローカル・マネージャーの長内紳悟氏による「議員のなり手不足について」をテーマとした講演を行いました。第2部ではパネリストとして全国6市区町から現役の議員をお招きし、パネルディスカッションを行いました。



第1部 長内紳悟氏による講演

「議員の平均年齢・女性議員の割合」について、那須塩原市議会の現状を踏まえた内容や、世界の議会開催例として、オンライン開催を行っている議会や幼児同伴を許可している議会の紹介など、多様な議会の在り方についてお話しいただきました。

第2部 パネルディスカッション

◆パネリスト◆

つくば市議会	川久保 皆 実氏
甲斐市議会	若尾 彰 子氏
飯綱町議会	瀧野 良 枝氏
浦幌町議会	沼尾 昌 也氏
墨田区議会	佐藤 篤 氏
奥州市議会	菅原 由 和氏



「議員になってからの生活の変化」についてのディスカッションでは、ジェンダーギャップの解消の必要性についてや、議会モニターとの意見交換、住民からの要望や相談を受けることが増えてやりがいを感じるなど、さまざまな議員としての現状が見えました。また、参加者へのメッセージでは、「まずは一歩踏み出してみること」、「一人一人が感じた思いを声に出すこと」が大切であると、未来の市議会議員へのエールをいただきました。

参加者からの感想

※一部抜粋して掲載しています。



意見を自分から挙げて地域を変えていくということの大切さをよく教えていただき、とても良い機会でした。



議会と市民の距離を縮める画期的な取り組みだと思えます。



議員になった理由や各地域でのやり方などを聞いて、本来の議会の在り方などさまざまなことが学びました。



祝 議会だより 100号

議会だよりは、今号で第100号を迎えました。平成17年2月の第1号から約18年の歳月がたちました。18年前の私は25歳の若造で、当時は東京で生活していた頃だと思います。この第100号の発行を迎えるにあたり、過去の議会だよりを閲覧しておりましたが、これまで編集委員や紙面構成など、時代に合わせてアップデートをしてきたのだと感じております。待ち遠しい春までもう少しですが、体調管理などくれぐれもご自愛ください。今後も市民の皆さまに手に取って、読んでいただけるような、読みやすい議会だよりづくりに広聴広報委員一丸となって取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

（広聴広報委員長 中里康寛）



市民アンケートの御礼

議会に係わる市民の関心度や意見を広く調査し、これからの議会活動に活かすために『議会に関するアンケート調査』を7月下旬から9月末日まで実施しました。市民の皆さまのご協力により、420件のご回答をいただきました。

「市議会に期待することについて」の問いには、「地域の課題解決力」、「住人の意見聴取」が多く、続いて「実行力」、「住民と行政の橋渡し」が上位を占めていることから、私たち議員の資質を高め、市民の皆様の負託にお応えしていく議会を目指して邁進してまいります。アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

STOP 議員の年賀状等あいさつ状は法律により禁止されています

議員は、公職選挙法の規定により、選挙区内の方に年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）をお出しすることができません。

ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

